リハビリテーション病院における高気圧酸素療法の経験

佐藤任宏* 佐藤俊子* 赤松郁夫**
藤井真司郎** 菊地俊男** 藤田京司**

はじめに

中枢性神経疾患即脳卒中症の治療の中で，急性期に対しての高気圧酸素療法（OHP療法と略す）は，先輩各位の努力により効果をあげている。しかしその時期を過ぎてからは，如何に早くリハビリテーション部門に送り，運動機能の回復をはかるかということが急務であって，社会復帰への道は遠いといわなければならない。そこで急性期を過ぎた後でもリハビリテーション部門の訓練とOHP療法を併用することにより，運動，知覚，構音等障害及失語症をより早く改善出来るのではないかと考え，病院開設と同時にOHP療法を実施して来たが，未だ日の浅いことと症例についての判定基準の確立も不充分であったが敢て報告する。

方法と対象

使用した装置は羽生田鉄工所製1人用小型タンクで，2絶対気圧で30分1日1回を原則として実施した。実施期間は昭和55年10月より57年6月迄の間である（**表1**）。

開院した足尾町は過疎地で人口5,000で地域医療としての一般病院的役割と，リハビリテーション部門とをドッキングさせた。入院患者総数670名，そのうち死亡は54名であった。その入院患者を2つの群に分けてみると，第I群は中枢神経系障害患者で333例おり，全員リハビリテーションの対象患者である。第II群は一般患者と整形外科よりのリハビリテーション患者を含んで337例である。第I群を疾患別に分類してみると，脳梗塞症208例，脳出血症79例，くも膜下出血後マヒ13例，

表1 足尾双愛病院入院患者数

入院患者総数(1年8カ月間)			670例(死亡54名)	
I 群	中枢神経障害別数	①脳梗塞症による片マヒ	208例	333例（死亡26名）
		②脳出血症による片マヒ	79例	
		③くも膜下出血による障害	13例	
		④脊髄性疾患	23例	
		⑤その他	10例	
II 群	その他の疾患数	内科		337例（死亡28名）
		外科		
		整形外科		
計				670例

*大宮双愛病院
**足尾双愛病院

表2 OHP療法実施件数

総件数		68件（再治療を含む）
OHP療法延回数		656回（1人平均11回）
疾患別表	脳梗塞による片マヒ	38件
	脳出血による片マヒ	2件
	くも膜下出血による片マヒ	2件
	頭部外傷による片マヒ	3件
	脊髄性変化によるマヒ	4件
	マヒ性イレウス	13件
	癒着性イレウス	1件
	末梢循環不全	3件
	慢性皮下気腫(関節炎による)	1件
	その他	1件
計		68件

脊髄疾患及損傷23例，：その他は脳腫瘍手術後マヒ：脳挫傷等10例である。今回のOHP療法の対象例は(**表2**)，主として脳梗塞症で38件31症例に実施した。その他は脳出血症2件2例：くも膜下出血後マヒ2件2例：頭部外傷後マヒ3件3例：脊髄損傷，病変によるマヒ4件4例：マヒ性イレウス13件10例：癒着性イレウス1件1例：末梢循環不全症3件3例：慢性皮下気腫1件1例及びその他1件1例等であった。このうちには適応外と思われた症例もあったが患者及び家族の強い希望で行い，総数658回58症例で1人平均約11回であった。

結　　果（表3）

脳梗塞症で有効としたものは9例で，失語症を合併していた症例に，OHP療法実施中タンクの中で歌を声を出して口ずさんでいた。脳出血，くも膜下出血外傷性脳障害及び脊髄性マヒについては少数例のため判定困難である。マヒ性イレウスにおいて脊髄損傷によるものには全例著効を呈したが全身衰弱例では効果がなかった。慢性皮下気腫の1例は右膝関節化膿症で創部の閉鎖後大腿部，腹部及び胸部に皮下気腫を呈し，他の部に異常なく，創部の開放とOHP療法で治癒し，現在四肢のリハビリテーション，訓練中である。

考　　案

脳梗塞症で早い時期よりリハビリテーション部門とOHP療法を併用することにより，臨床的には運動機能の回復が著しいと思われる。

しかしその判定に難しく，標準を何にするかが問題といえる。現在運動機能に関してリハビリテーション部門で使っている，Brunstrom Recovery Stage Test（B.R.S.T）を基準とし，失語症に対しては，Standard-Language Test of Aphasia（S.L.T.A）を基準にするのが最も良い方法と考える。

表3　OHP 療法の効果

	有効	やや有効	無効	計
脳梗塞例	9例	15例	7例	31例
脳出血例		1例	1例	2例
くも膜下出血例		1例	1例	2例
外傷性脳疾患例	1例		2例	3例
脊髄性疾患例		2例	2例	4例
マヒ性イレウス	5例	1例	4例	10例
癒着性イレウス			1例	1例
末梢循環不全			3例	3例
慢性皮下気腫（関節炎による）	1例			1例
その他			1例	1例
計	16例 (27.5%)	20例 (34.4%)	22例 (37.9%)	58例

結　　語

慢性期に入った中枢神経疾患に対するOHP療法の経験について述べた。

〔参　考　文　献〕

梁井俊郎ほか：脳血管障害に対する高気圧酸素療法の効果．日本高気圧環境医学雑誌，16（1）：70：1981

杉山弘行ほか：脳脊髄疾患に対する高圧酸素療法．日本高気圧環境医学雑誌，16（1）：74，1981

河東　寛ほか：失語症患者に対する高圧酸素療法．日本高気圧環境医学雑誌，16（1）：80，1981